

## 2020年も共にまい進：ITU事務総局長 新年のご挨拶



ITU 事務総局長

Houlin Zhao

2020年も世界のITUコミュニティは前途洋々と期待されていますが、その年頭にITUの親愛なる友人である日本の皆様にご挨拶する機会を賜り大変光栄に存じます。

最初に日ごろITUの活動を支えておられる日本ITU協会、ITUの財政に大きな支援をしてくださる日本政府、また多くの技術専門家を派遣してITU活動に多大なる貢献をされているITUセクターメンバーの企業の皆様にご挨拶の意を表したいと思います。

今日、世界の各国は国連が提唱する持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向け情報通信技術 (ICT) の利用に拍車をかけています。これについてインフラ整備、投資、技術革新、包括性の促進に力を尽くし、接続性の向上にグローバルな先導役を務めている日本を例にならうべきと、私はいつも各国に勧めています。

ITUはICTに係る国際連合の専門機関として193か国の加盟国と900を越える工業界、学術研究団体等のメンバーを擁し、無線スペクトラムや衛星軌道の管理、技術やサービスに適切な標準を作成する活動を行っています。またSDGsの達成に向けインフラ整備やサービス導入のため、その投資の環境を整える経営管理、最善の方法を促進しています。これを率いるに当たっては、導入されるたくさんの新技術が環境にやさしいこと、効率的、安全かつ費用

効果が高いこと、世界のどこでもだれもが利用できることを念頭に置いています。

ITUはAI、スマートシティ、デジタル通貨、IoT、テレビの新技术、5G等の標準化作成においても最前線で活躍しています。これらについてデジタルリテラシー、ジェンダー、アクセシビリティ、医療、セキュリティ、金融包摂 (訳注：全ての人が基礎的な金融サービスのアクセスを可能にすること) を考慮しながら取り組んでいます。

ITUはまた、青少年や他の人々のICTスキルの育成を推し進め、デジタル時代の雇用機会が増えるよう支援活動もしています。

それでも世界の人口の半分位の人々がデジタル時代から取り残され、デジタル革新の恩恵を十分享受できない状況に置かれています。全ての人々が手頃な料金でアクセスできるよう、ITUは年頭からその活動をさらに強化する計画で、日本の関係者の皆様には引き続きITUへご協力とご支援を賜りたいと願っています。それにより、持続可能な開発目標 (SDGs) が計画どおり2030年に達成できると確信しています。

2020年も皆様にとって平和で健康で幸福な年でありませうよう心よりお祈り申し上げます。